

埼玉県の織維関連企業

個性発信し存在を示す

伝統産業と連携などに注力

埼玉県の織維関連企業が個性的な取り組みを加速している。伝統産業の世界展開を図る企業やアニメ・エンターテインメント業界の需要開拓に注力する企業など、さまざまな角度で取り組みが進む。ただ「認知度はまだ低い」（県内企業）とし、発信の強化で存在感を高める。



サイボーグクリエイトのオリジナルグッズ

大・販路開拓、技術力向上の促進を目的とし、県内の企業が一堂に会した。織維関連企業の出展数は少なかったが、独自性の高い提案が目を引いた。

ワークウェア卸・販売の武蔵野ユニフォーム（行田市）は、職人が手作りするサムライ足袋を企画し、市の伝統産業である足袋の展開に力を入れていく。モダンな柄に加え、普段使いができて

24、25の両日、さいたま市のさいたまスーパーアリーナで「彩の国ビジネスアリーナ2024」が開催された。中小企業の受注拡大

ンスや台湾に販路が広がり、市と連携による足袋コーディネートコンテストもパリなどで実施している。今後の目標は「宇宙展開」。宇宙に滞在する飛行士がはく靴下は「ほろぼろになることがある」とし、足袋の提案で履物問題を解決する。

サイボーグは、サステイナビリティーの観点での商品提案を強化しており、再生ポリエステル原着糸がその一つ。原着糸は染料や水の使用量が少なくといった特性を持つ。原着糸のロットは1色・3トが一般的だが当社は500キログラムで対応する。価格もレギュラーポリエステル原着糸よりも低く抑える。

サイボーググループのサイボーグクリエイト（川口市）は、染料インクジェットや昇華転写など、各種プリント加工を展開し、アニメや芸能、スポ

ーツ関連のグッズ（タオルやTシャツなど）を受注生産している。デザインからワンストップでの対応が強みとし、売り上げも順調に推移している。

ストールや生地の手染めを行うきぬのいえ（寄居町）は染め直し&クローゼットサービス「SO MA Re.」（そまの）の訴求を強めている。黒染めだけでなく、一部カラー対応も可能という。今後は、受注加工だけでなく、購入した古着などを染め直し、自社で販売したいと話す。

縫製の金野縫製（松伏町）はリュックサックの製造を主力としてきた企業だが、近年は健康器具の開発を増やしている。

BFBR（血流制限）トレーニングベルトなどを生産し、BFBRトレーニング協会との連携で販売している。今回の展示会に

合わせて体幹ウォーキングハーネスも開発した。